

## 【 2011 年度事業計画 】

2011 年度 運動スローガン

つなげよう “いのち”  
～皆で踏み出す 新たな一歩～

### 基本方針

1. すべての患者さんが適切な時期に適切な治療を選択して、元気に社会復帰を果たせるように、患者支援活動、広報活動、要望活動に努めます。
2. 骨髄移植やさい帯血移植がより効率的・効果的に実施されるべく、両バンクを一元化した「造血細胞バンク」が日本赤十字社の事業として再構築されるよう働きかけ、その実現に努めます。
3. ドナーの安全に常に関心を持ち、ドナーがより安心して提供できる社会環境の実現に努めます。
4. 全国の仲間や関係機関との連携を強化しながら、自らの自発的な「思い」を大切に「いのち」をつなぐ自立したボランティア活動を続けていきます。

## 具 体 的 方 針

### 1. 患者支援活動

- (1) 「白血病フリーダイヤル」による患者相談を毎週土曜日に実施する。そのために、相談員の拡充・レベル向上、ニーズの把握、PRに取り組む。
- (2) 「佐藤きち子患者支援基金」による闘病のための経済的支援をおこなう。そのために、積極的に寄付を募り増資を図る。
- (3) 「白血病と言われたら」により、患者やその家族などに闘病に有用な情報を提供する。公立図書館等への蔵書を働き掛け、多くの人が活用できる環境をつくる。次回改定に向け作業を進める。
- (4) 闘病にかかる患者さんの経済的負担軽減のための、公的支援確立に向けた調査研究及び要望活動を行う。
- (5) 造血細胞移植後の患者さんのQOLに関する調査研究を行う。

### 2. 東日本大震災被災患者支援活動

- (1) 2011年3月11日に発生した東日本大震災や東京電力福島第一原発事故に伴い、被災した患者さんの状況を把握し、ニーズに応じて長期的支援を行う。
- (2) 被災患者さんへの経済的な支援として「東日本大震災被災患者支援基金」を創設し、必要な給付を迅速に行う。また、基金が順調に運営できるように周知し、積み増しに努める。

### 3. ドナー支援活動

- (1) 「ドナーサポートダイヤル」により、骨髄提供やドナー登録に関する相談に応じる。
- (2) 「ドナーになるってどんなこと？」を改訂してドナー登録者や職場等に配布し、骨髄提供について正しく理解してもらう。
- (3) ドナーが提供しやすい環境を整備するため、社会への働きかけを行う。

### 4. 社会啓発活動

- (1) 機関紙である全国協議会ニュースを毎月発行し、情報をタイムリーに発信する。
- (2) ホームページ等のインターネットを活用した情報発信を充実させ、とくに若年層に向けた SNS、ツイッターなどによる情報発信について検討する。
- (3) 各地加盟団体との連携のもと、さまざまな機会を利用して普及啓発活動を実施する。また、外部団体・企業等が主催するイベントと連携した啓発活動に取り組む。
- (4) 若年層への啓発は、校外学習としての職場訪問、ボランティア体験等を積極的に受け入れる。
- (5) 「いのちの輝き展」「あやちゃんの贈り物展」「MAMO のメッセージ展」等を活用した啓発活動に取り組む。加盟団体による活用のほか、行政、企業や他団体による活用を働き掛ける。さらに、移植を受けて元気になった患者さんの作品を新たにコンテンツに加える。
- (6) 「ありがとうキャンペーン」の桜の成長を見守り、普及啓発に活用する。

### 5. 普及啓発グッズの活用

- (1) サンリオのご協力によりキャラクターを使用した普及啓発グッズを作成し、各種イベントにおいて活用する。本事業の一部は収益事業として実施する。
- (2) より多くの方が接することのできるような新たなグッズやその活用方法を開発する。

### 6. 要望請願活動

- (1) 患者や骨髄提供希望者等のニーズを把握し、国や関係機関に要望する。
- (2) 理想的な造血細胞バンクの実現に向けて国や日本赤十字社等関係機関に働き掛ける。

### 7. シンポジウム・セミナー事業

- (1) 「ブロックセミナー」を全国8ブロックで開催し、地域ごとの連携強化によるボランティア活動の活発化を図る。
- (2) 「第5回合同公開フォーラム」を関係機関との共催で開催し、課題解決に向けて協調して取り組む。

## 8. 調査・研究活動

- (1) 海外における患者支援・患者擁護、造血細胞移植の法制度等を日本のシステム改善の参考とするために、海外に視察チームを派遣して実状を調査する。
- (2) 造血細胞移植学会に参加し、最新情報を収集する。また、全国協議会の患者支援活動を医療関係者に周知する。
- (3) 非血縁者間末梢血幹細胞移植に関する動向を注視し検証する。
- (4) 造血細胞移植基本法整備のための研究を行う。

## 9. 骨髄バンク事業・さい帯血バンク事業、献血事業との連携

- (1) 関係機関からの要請により、役員・委員等を派遣する。
- (2) 日本赤十字社、各地のボランティア団体と連携し、献血・ドナー登録推進に協力する。
- (3) 財団、さい帯血バンクネットワーク、日赤や行政等との意見交換を適宜実施し、情報の共有化を図る。公開される会議は積極的に傍聴して、情報収集する。

## 10. ボランティア団体支援

- (1) 加盟団体や協力団体等との協働事業に取り組み、各地での活動を支援するとともにボランティアネットワークの強化を図る。

## 11. 組織強化

- (1) 全国協議会の最高意思決定の場である通常総会を6月に開催する。理事会は原則として毎月開催する。
- (2) 加盟団体間の意見交換の場として代表者会議を開催する。
- (3) 認定NPO法人の寄付控除のメリットをPRし、新たな協力者を開拓する。
- (4) 全国協議会の組織・運営・運動のあり方を見直し、改革をするための検討会議を設置する。その答申を受け、改革実現のための提案を2012年度総会に行う。

## 12. その他

上記1から11に掲げたものの他、患者やドナー支援、造血細胞移植医療の充実のために必要な事業を実施する。